

事業所名

ふくおーれ

支援プログラム(児童発達支援・放課後等デイサービス共通)

作成日

2024年

9月

1日

法人(事業所)理念	1. 当事業所は、子どもやその保護者と公認心理師・臨床心理士が、協働して個別ニーズに見合う支援プログラムを作成し、専門的療育を行うことで、子どもやその家族の Quality of Life を高めることを推進していきます。 2. 当事業所は、心理学のプロである公認心理師・臨床心理士が支援を提供することにより、心理支援を身近に感じてもらうことを目指します。 3. 当事業所は、全ての子どもがそれぞれ独自の人生を歩んでいることを常に忘れず、その子らしい「生き方」をオーダーメイドできるよう心がけます。 4. 職員一同が、専門的知識の学習と研鑽の努力を継続することを惜しみません。常に最新の支援を提供することで、「ここがあってよかった」、「ここに来て良かった」と思われる事業所であり続け、社会に貢献できることを目指します。					
支援方針	オリジナルのプログラムを作成し、適切且つ効率的な支援およびトレーニングを実施します。 公認心理師・臨床心理士の資格を持つ職員が担当し、一貫した専門的療育を提供します。 身近な療育ツールを活用し、ご家庭や他の所属機関でも再現が可能な支援を提供します。					
営業時間	12時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を送れるように支援する。子どもの特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。子どもの特性を考慮し、時間や空間を子どもに分かりやすく構造化する。 (例) 来所時に毎回体温測定を行う。タイマーやスケジュール表等の視覚的補助を用いて、時間や空間を子どもに分かりやすく構造化する。				
	運動・感覚	姿勢保持や運動・動作の習得、補助用具などの補助手段の活用ができるよう支援する。視覚、聴覚、触覚を十分に活用できるよう遊び等を通して支援する。子どもの特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の配慮を行う。 (例) バランスボール等の運動療育を行い、身体のバランスやコントロールの発達を促す。ゲームやクイズを行い、視覚、聴覚、触覚の発達を促す。聴覚過敏の子に対して、耳栓等の使用を許可あるいは提案する。				
	認知・行動	数や大きさ、色等、様々な概念の理解や適切な行動の習得を支援する。子ども自身の認知特性の理解を促し、社会への適応に繋がるような支援を提供する。 (例) 積み木など立体的な道具を使って遊ぶことで、数や大きさ、色等の概念を理解する。認知行動療法を用いて、認知特性の理解、修正を促し、ストレスマネジメント力を向上させる。				
	言語コミュニケーション	障害の特性に応じた読み書き能力の向上を目指し支援する。適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を目指し支援する。 (例) 板書きし課題に取り組み、短期インプットとアウトプットのコツを学び、正確に視写できるよう促す。絵カード等を用いて、語彙力や説明力の向上を促す。アサーショントレーニングを実施し、自分も相手も大切にしたいコミュニケーションが取れるようになるよう促す。				
	人間関係社会性	良好な対人関係の構築および維持を目指し支援する。所属する学校等の適応に繋がる社会性の向上を目指し支援する。 (例) 困った場面での対処法について一緒に考え、出た答えをロールプレイで練習し、日常生活でも実践できるよう促す。				
家族支援	子どもの家庭での様子や困りごとを把握し、適切な助言を行う。 (例) 保護者への聞き取りから家族システムを把握し、家族がより適切にかかわれるような助言を行う。	移行支援	子どもや家庭への心理支援の提供とともに、移行先との情報共有を行わない移行支援を進める。 (例) 不登校児童への心理支援を、療育とともに提供し、学校側と情報共有する。			
地域支援・地域連携	学校や医療機関等、子どもを取り巻く地域の関係機関と連携し、環境調整を行う。 (例) 子どもが在籍する学校の担任と情報共有を行い、必要に応じて助言や役割分担を行う。	職員の質の向上	最新の心理支援を提供するために、職員一同が専門的知識の学習と研鑽を継続する。 (例) 当事業所に在籍する子どもの事例検討会を定期的実施する。			
主な行事等	保護者対象の無料オンラインセミナーを実施する。					